

他大学の学生に向けて

インカレとして一橋大学に出入りする他大学の学生は「パラソル（国立市男女平等参画ステーション）」が利用できます。

とりわけ利用率の多い津田塾大学生に関して、津田塾大学には現時点（2019年11月）の段階ではLGBT・SOGIの専門相談窓口はありません。しかしハラスメント相談としては津田塾大学内に「津田塾大学セクシュアル・ハラスメント等相談窓口」があるため、場合によっては有効かもしれません。

【パラソル（国立市男女平等参画ステーション）】

国立市は、性別にかかわらず、すべての人が、自分らしく地域で暮らすことができる社会を築くため「国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例」を制定しました。本施設「くにたち男女平等参画ステーション」は、条例が目指す「一人ひとりが性別に関わらず自分らしくあるための社会づくり」の拠点として、開設しました。

メール：info@kuni-sta.com

ホームページ：<http://kuni-sta.com>

Facebook:kunista

instagram:kuni_sta

<SOGI（ソジ）相談（要予約）>

専門相談員が、性的指向、性自認などの性別に関する相談を、ご本人やそのご家族などからお受けします。

■相談方法

電話、及び面談

■相談時間

1人50分、第4日曜日14：00～16：00、第2火曜日16：00～18：00

■相談を受ける人

専門相談員

■詳細

- ・専門相談員が資料提供等対応する
- ・利用者について

基本的には国立市在勤、在学、在居の人に限るが、DV事案など周りに知られたくない場合もあるため、利用者は限定していない。津田塾学生も利用可能

- ・カミングアウトされた人も相談可能

カミングアウトされた人ももちろん可能であり、その他家族、教員相談も受けている。教員相談とは授業でLGBT・SOGIについて取り扱う際にどう言った資料が適切かをアドバイスするというもの。

- ・相談の解決について

傾聴が主。その他資料提供や他セクターとの連携、行政仲介等は適宜対応。

【津田塾大学セクシュアル・ハラスメント等相談窓口】

相談窓口ではあなたの話を聞き、どんな対応方法があるか説明するなど、問題解決に向けてのお手伝いをします。

＜相談の方法＞

- 相談員のうち、あなたが相談しやすい方に、電話あるいはメールで、相談に行く日時の手配を取ってください。
- 面談だけでなく、手紙・ファックスなどでも受け付けていますので、最も利用しやすい方法で相談してください。

＜秘密の厳守＞

- プライバシー保護のため、あなたの名前や相談内容は決して外部にもりませんので、安心して相談してください。匿名の投書などは必ずしも問題の解決につながりません。
- また、相談したことによって不利益を受けることは決してありません。

＜解決の手続き＞

- 相談員は相談者の悩みを親身になって聞き、問題解決のためにとるべき方法（調停や救済）について説明し、相談者が納得のできる方策を一緒に考えます。
- 必要に応じて調査委員会あるいは調停委員会が設置され、公正な調査と審議が行われます。
- セクシュアル・ハラスメント等の事実が確認された場合には、相手方は就業規則および学則による処分の対象とされます。

＜住所＞

〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1 津田塾大学 総務課内

電話番号：042-342-5111 / FAX. 042-342-5116